



う そだ 受けとって育てる

2024/4/26

No. 9

岩渕和信

こうちょうひとり、ようちえん、じゃま
校長一人で、幼稚園にお邪魔しました。

えんてい、はい、おとこ、こ、て、にぎ
園庭に入っていくと、男の子がいきなり手を握ってきて
引っ張ります。

に
「逃げるよ！」

おに、ま、こ
どうやら鬼ごっこに巻き込まれたようです。



こちらでは、つち、こえ
こちらでは、土いじりかな？ そう声をかけると、
「ちがうよ、ようちゆうそだ、い、ほり、だ、み
「ちがうよ、幼虫育ててるの」と言って、掘り出して見せてくれました。
たしかに何かの幼虫のようです。カブトムシでしょうか？

おも、お
かと思うと、あちらでは、ニワトリを追いかけています。そう言うと、

また「ちがうよ、せわ、い、ちわ、だいじ
また「ちがうよ、世話してるんだよ」と言います。一羽を大事そう
にひざに乗せてる子がいました。



すいどう、みず、あそ、すなば、なべ、りょうり
水道では、たわしと水で遊んでいる子、砂場ではお鍋でお料理し
ている子、地面を掘って工事してる子、園庭の真ん中では輪を並べてゲームしてる子、また
部屋の中でも、あちこちでいろいろと夢中になっています。先生たちも一緒に遊んでいるだ
けのように見えますが・・・。

先生の一人が話してくれました

おとな
「大人はいるだけじゃだめで、そこで、子どもが何をしたいの
かとか、どうしたいのかとか・・・」

と
「問いかけるんですね」

「そうなんです。すぐ手を出すんじゃなくて、みまも
受けとって、どうしたらいいのかをみんなで話し合いながら関わってます」

やってあげるのはかんたん、きょういく、おそ、そだ
やってあげるのは簡単。でも教育はその子から「教わって育てる」。先生たちが子どもか
ら受けとって、そこから子どもたちのへんか、う
変化が生まれていきます。

み、あ、げんてん
見ていて飽きません。幼稚園には教育の原点があります。

